

認定NPO法人e-Education

# 年次活動報告書



静岡県で支援している海外ルーツ（越境児童）の小学生



**ANNUAL REPORT  
2024**

2024.04 - 2025.03



## Mission

最高の教育を世界の果てまで

Best Education to edge of the World

## Vision

人生に誇りを、社会には想いやりを

A Life with Dignity, a Society with Compassion

### 代表メッセージ

**"Only local people can change the local issues"**  
(地元の課題は、地元の人たちだけが解決できる)

これはe-Educationが創業時から大切にしてきた考え方の一つです。活動国各国に優れた現地のリーダーと素敵なチームが存在し、彼ら彼女たち一人一人が生徒たちのロールモデルとなる未来を目指して挑戦し続けてきました。

バングラデシュを例にすると、大学受験に挑戦した生徒が、翌年受験生たちのメンターになり、大学卒業後は職員として働く、という良い循環を生み出すことができました。

日本人ではなく現地の人たちにスポットライトが当たり、生徒たちが「自分たちも教育と一緒に変えていきたい」という大きな流れをつくることに寄与できたことに誇りを持っていますが、だからこそ以前からずっと気になっていた問題がありました。

**日本にいる越境児童（海外ルーツの子どもたち）の課題は一体誰が解決するのだろう？**

年々増加する越境児童。ただ、自治体の受け入れ体制は現状整っていない自治体が9割を超え、日本語のサポートが必要な生徒数は5年間で2倍以上増えたという悲しいデータもあります。

このような背景から、**「私たちには日本で活動を立ち上げることを決めました。**活動国の仲間たちの力を借り、生徒たちの出身国や出身地で用いる母語をベースに、各国でのノウハウを活かした算数個別支援をオンラインで届ける新しい挑戦が今年度から本格的に始まりました。

「**国際協力の逆転**」とも言えるこの事業にワクワクしたのは自分だけではありません。フィリピンやネパールなど各国の仲間たちが「**やっと日本に恩返しができることが嬉しい**」と話してくれ、これまで積み上げてきた点と点が繋がった確かな手応えを感じました。

e-Educationはこれまで14の国と地域で活動してきましたが、**15カ国目の国は「日本」**です。各国の仲間たちが証明してくれた "**Only local people can change the local issues**" を今度は私たちが日本でも実践していきます。

海外から日本のどこに来たとしても最高の教育を届けられる未来をe-Education総力をあげて作ってまいりますので、これからもぜひ応援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

認定NPO法人e-Education  
代表 三輪 開人





### バングラデシュ

#### ~2024年夏、政変が発生。支援を拡大しより多くの生徒をサポート~

バングラデシュで発生した政変やそれに伴う抗議活動は、学校の閉鎖など教育にも深刻な影響を及ぼしました。物理的に「勉強ができなくなる」といった影響だけでなく、身近な人が犠牲になるという事態も発生し、生徒たちは精神的なショックから学習に集中できない状況に陥りました。

こうした状況に対し、私たちはICTを活用し、映像授業の提供に加えて、学習以外の悩みにも寄り添うメンター（ライフコーチ）による支援を実施しました。学びを止めない環境づくりを通して、包括的な学習支援を届けています。

支援体制を日々改善しながら、より多くの地域・生徒に映像授業を届けられるよう取り組み、現在ではほぼ全国の農村部にまで支援の輪が広がりました。2024年度は政変の影響もふまえ、より多くの生徒を支援できるよう奨学金枠を拡大しました。

また、雇用機会創出のために、かつて支援を受けた大学生を「オンライン家庭教師」の講師として採用し、後輩たちの受験を共に応援しています。さらに、卒業生が母校を訪問し、後輩たちの学習意欲を高める講演会も開催しています。

こうした体制強化と支援の拡充により、2024年度は275人の受験生に学習支援を届け、24名の大学生に就業機会を提供することができました。加えて、15年連続でダッカ大学をはじめとする難関国公立大学への合格者を輩出しています。



オンラインで一緒に受験期間を過ごしてきた生徒たちが  
初めて一堂に会した日の一枚

#### ~“政変も貧困も「学びたい」は奪えない”クラウドファンディングを実施~

2024年夏、バングラデシュで政変が発生し、多くの若者たちが甚大な影響を受けました。9月初旬の時点で、負傷者は約2万人、死者は1,000人を超える深刻な状況に陥りました。混乱の中、複数の地域で学校が閉鎖され、高校卒業時に行われる全国統一試験は中止に。多くの学生たちが影響を受けました。

このような厳しい状況下でも、生徒たちの「学び」を止めないため、私たちは2024年11月より2か月間、緊急支援キャンペーンを実施しました。その結果、133名の方から総額212万円ものご寄付をお寄せいただきました。皆さまのあたたかいご支援により、政変の混乱の中にいるバングラデシュの若者たちへ、学びの機会と未来への希望を届けることができました。心より感謝申し上げます。

最後に、冬季募金キャンペーンでご紹介したアミンさんからのメッセージをお届けします。彼女は皆さまのご支援のおかげで、政変の最中も学び続け、念願だったダッカ大学への合格を果たしました。

サポートしてくださり本当にありがとうございます。  
寄付が必要な、夢を持っている子どもたちはまだまだいます。

皆さんの継続的なご寄付が、  
彼らの未来を切り拓く大きな力になります。

私と同じように、より多くの子どもたちがチャンスを掴めるよう願っています。皆さまのご支援は、彼らにとってかけがえのない希望となるはずです。





フィリピン

## ~フィリピンでの大学受験支援をスタート~

フィリピンでは、コロナ禍により約2年半にわたって長期休校が続き、生徒たちは自宅での学習を余儀なくされました。この間、インターネット環境やデジタル端末の有無、家庭の経済状況や居住地域の違いにより、教育機会の格差が一層広がりました。都市部と農村部、私立校と公立校の間で学力差が顕在化し、多くの生徒がいまなお学びの遅れに直面し、フィリピンにおける深刻な教育課題となっています。

こうした状況を受けて、2024年度からは、バングラデシュで実績のある「オンライン家庭教師モデル」を参考に、フィリピンでの大学受験支援をスタートしました。フィリピン大学をはじめとしたトップ大学合格を目指す高校生を対象に、プロの教師による集団授業に加え、経済的理由でアルバイトができない大学生と学習支援を必要とする高校生をマッチングし、大学生による個別指導を提供。また、学力を確認するための模擬試験も実施しました。

オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型の授業を通じて、より多くの生徒に質の高い学びを届けることができました。2024年度は145名の生徒が本プログラムに参加し、62回の集団授業、88回の個別指導、11回の模擬試験を実施。現在、120名以上の生徒がフィリピン国内の最難関大学への受験に挑戦しており、試験結果は2025年4月から6月にかけて発表される予定です。

生徒からは「e-Educationのおかげで、最後まであきらめずに挑戦できた」という声も届いています。



大学受験支援に参加してくれた生徒たち



ミャンマー

## ~海外大学院進学支援プログラムを継続~

ミャンマーでは、クーデター以降、国内の教育制度が二分化されました。昨年に引き続き、政府主導のカリキュラムと非政府主導のカリキュラムが併存し、それぞれに対応した高校卒業試験が存在するという、特殊かつ複雑な状況が続いています。そのような中で、e-Educationは「誰一人取り残さない」ことを理念に掲げ、どのような立場にある生徒にも学びの機会を届けるべく、支援を継続しています。

現地の教育状況を調査し、高校卒業試験に加え、GEDやIELTSなどの国際試験の活用も視野に入れながら、プロジェクト実施の可能性を検討。「生徒の未来の選択肢を増やす」という理念のもと、国内外に暮らすミャンマーの若者を対象に、オンラインで質の高い教育を提供する体制を整えました。海外大学院進学を目指す教育支援を実施しています。

2024年度は、大学院進学とそれに必要な奨学金獲得を目指す生徒4名を支援。そのうち1名が、タイ国内の大学院に合格し、奨学金を獲得しました。

※現地パートナーと生徒の安全確保のため、現地状況など詳細の記載は控えさせていただきますことご容赦ください。



ネパール

## ~ICTファシリテーターの育成研修に注力~

ネパールの地方部では、教師の指導力不足と教材の不足が深刻で理数系教育の質が低いことが課題です。生徒の基礎学力不足もSEE試験（中等教育修了試験）の成績不振に繋がっています。

JICA草の根事業最終年度となる2024年度は、学校レベルでICTを導入・活用するためのキーパーソンとなるICTファシリテーターの育成研修に注力し、ICT教育推進と課題解決を目指しました。2024年度は、ICT教育推進のため、ICTファシリテーター育成研修カリキュラムを作成し、モデル自治体でパイロット研修を実施しました。カトマンズ大学と連携し、ニーズ調査に基づいた研修を開発しました。



最終カンファレンスの集合写真

研修は対面講義（2日間）とオンライン課題（13日間）を組み合わせた、ネパール初のブレンド型研修として実施。ダクシンカリ市の理数科教師ら26名が参加し、ICT基礎知識、教材作成、ICT授業活用を学びました。理科教材のYouTubeアップロードやSEE試験対策も行いました。最終カンファレンスでは高い評価を受け、他自治体への拡大が決定しました。研修で得た知識やスキルを活かし、各学校でICTを活用した授業が展開されることが期待されます。



日本

## ~海外ルーツの子ども達（越境児童）の支援を開始~

文部科学省等の調査によると、日本語指導が必要な越境児童（海外ルーツの子どもたち）の数は、令和3年度時点で58,307人と、この10年間で2倍になつた一方で、受け入れが整っている自治体は全国で6%しかありません。支援が必要な児童の中には、e-Educationの活動国であるフィリピンやネパール出身の子どもたちも大勢おり、2023年から約1年にわたって調査を実施しました。

調査の結果、日本語教育のほかに教科（特に算数）学習支援のニーズが高いことが判明しました。海外の言葉で算数を学ぶことがいかに難しいかは容易に想像できるでしょう。ただ、もともと存在していた日本と途上国との算数における学力差に加えて、コロナ禍による休校の影響で、小学校高学年でも掛け算九九ができない子どもが大勢いることが判明しました。



ヴィサヤ語の授業を受ける生徒

私たちはこの問題を解決するために、母語を活用したオンラインによる算数個別学種支援の活動を、モデル自治体の静岡県掛川市で開始しました。掛川市教育委員会と協議を重ね、来日直後の越境児童に対して約半年間日本語や日本のルールを指導する「虹の架け橋教室」でトライアル事業を実施し、2024年10月からは掛川市内の学校にて編入直後の越境児童に対するオンライン算数個別支援の活動を実施しました。掛け算九九が全くできなかった小学校4年生の生徒が約半年で学校のカリキュラムに追いつくなど好事例が生まれ、全国のモデルとなる事業づくりに今後も挑戦していきます。

### ~虹の架け橋教室 土井先生からのメッセージ~

e-Educationのオンライン授業には、感謝しかありません。

日本語がまだ十分にわからない子どもたちに算数を教えるのは、想像以上に難しく、同じ単元で何度もつまずくうちに、算数が嫌いになってしまう悪循環が続いていました。

そんな中、母語で現地の先生に教わるようになると、子どもたちの目が輝き始め、算数の時間を楽しみにするように。その変化は日本語の授業にも波及し、勉強に前向きな姿勢が生まれました。

e-Educationとの出会いは、私たちにとってまさに奇跡です。

子どもたちのことを一番に考え、小さな悩みにも真摯に向き合い、対応の速さにも驚かされるばかり。

三輪さんに相談すれば、何でも解決してしまう気がするほどです。

頼りきりで恐縮ですが、e-Educationなしでは今の私たちはありません。

いつか恩返しができるよう、スタッフ一同、これからも頑張っていきます！



虹の架け橋教室の土井先生（写真左）

### これまでにご支援・協働いただいている法人さま

※一部掲載



# 会計報告

e-Educationの活動は皆さまからのご寄付をはじめ助成金や事業収益によって実施できています。2024年度も温かいご支援をお寄せいただき、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げるとともに、1年間の収支についてご報告します。

本書では、決算の主な数字を集計したものです。国別や事業別など詳しい損益はホームページの決算資料（<https://eedu.jp/about/outline/index.html>）で公開しています。

※e-Educationでは外部の会計監査などを受け、厳格な財務管理を実施しています。

経常収益	
受取寄付金	51,135,326円
受取助成金等	14,880,000円
事業収益	37,351,497円
その他の収益	6,755円
合計	103,373,578円

経常費用	
事業費	62,670,767円
人件費	16,423,117円
その他経費	46,247,650円
管理費	20,586,603円
人件費	6,838,538円
その他経費	13,748,065円
合計	83,257,370円

税引前当期正味財産増減額	法人税、住民税及び事業税	当期正味財産増減額
20,039,630円	70,000円	19,969,630円
前期繰越正味財産額	次期繰越正味財産額	
- 79,330,219円	- 59,360,589円	

## ご支援の方法

### 01 マンスリーサポーターになる

毎月3,000円のご寄付があれば、映像授業とオンライン家庭教師による教育支援を届けられます。学習環境に恵まれない子どもたちを応援する仲間になってください。



<https://sforce.co/4fSVNcD>

### 02

### 今回のみご寄付をする

ご都合の良い時に、ご自由な金額でご寄付いただけます。法人としてのご寄付もこちらからお申し込みいただけます。



<https://sforce.co/4dz14Ve>

e-Educationへのご寄付は寄付控除の対象となります

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-2-8 赤塚ビル 2 階

E-Mail : [info@eedu.jp](mailto:info@eedu.jp) HP : <https://eedu.jp>

